

この森を
つくるのは

写真・文
小寺 卓矢



航空写真(帯広) 昭和46年(1971年)

ひろびろと
どこまでも つづく
だいち

ぼくたちは ここに
みちを つくり
はたけを つくり
まちを つくり
いきてきた

でもね
その ずっと まえ
ここには ふかい もりが あった
それは
たとえば こんな もり――



この森を
つくるのは

写真・文
小寺 卓矢

ちよろちよろ

ちゃらら

かわが　ながれている

ちゃぽっ……

なにかが　はねた

みずが　ゆらめいた

ちっちゃな　さざなみ　たてたの

だれ



ゆらゆら きらり
きらきら するり

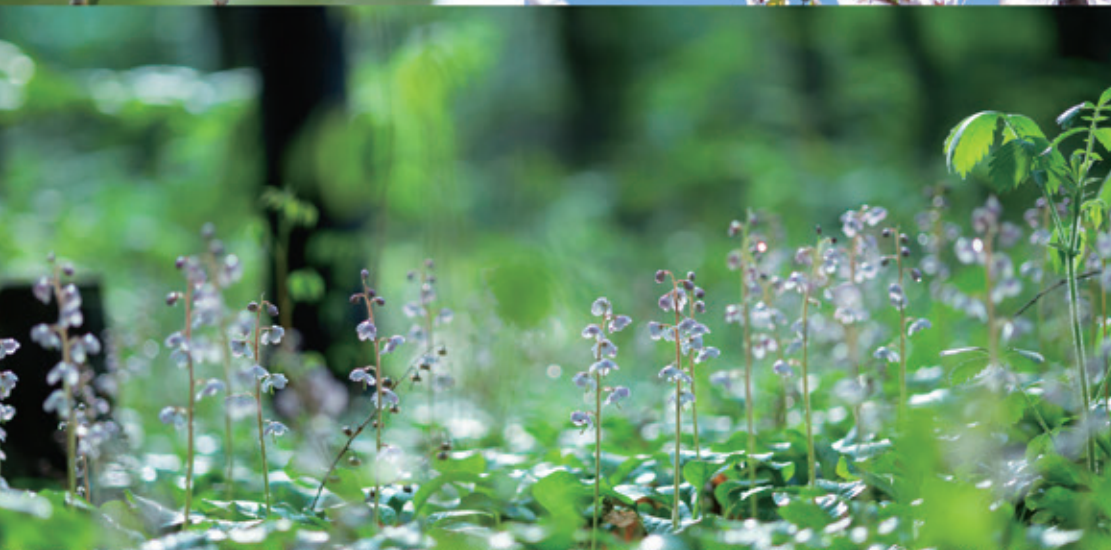
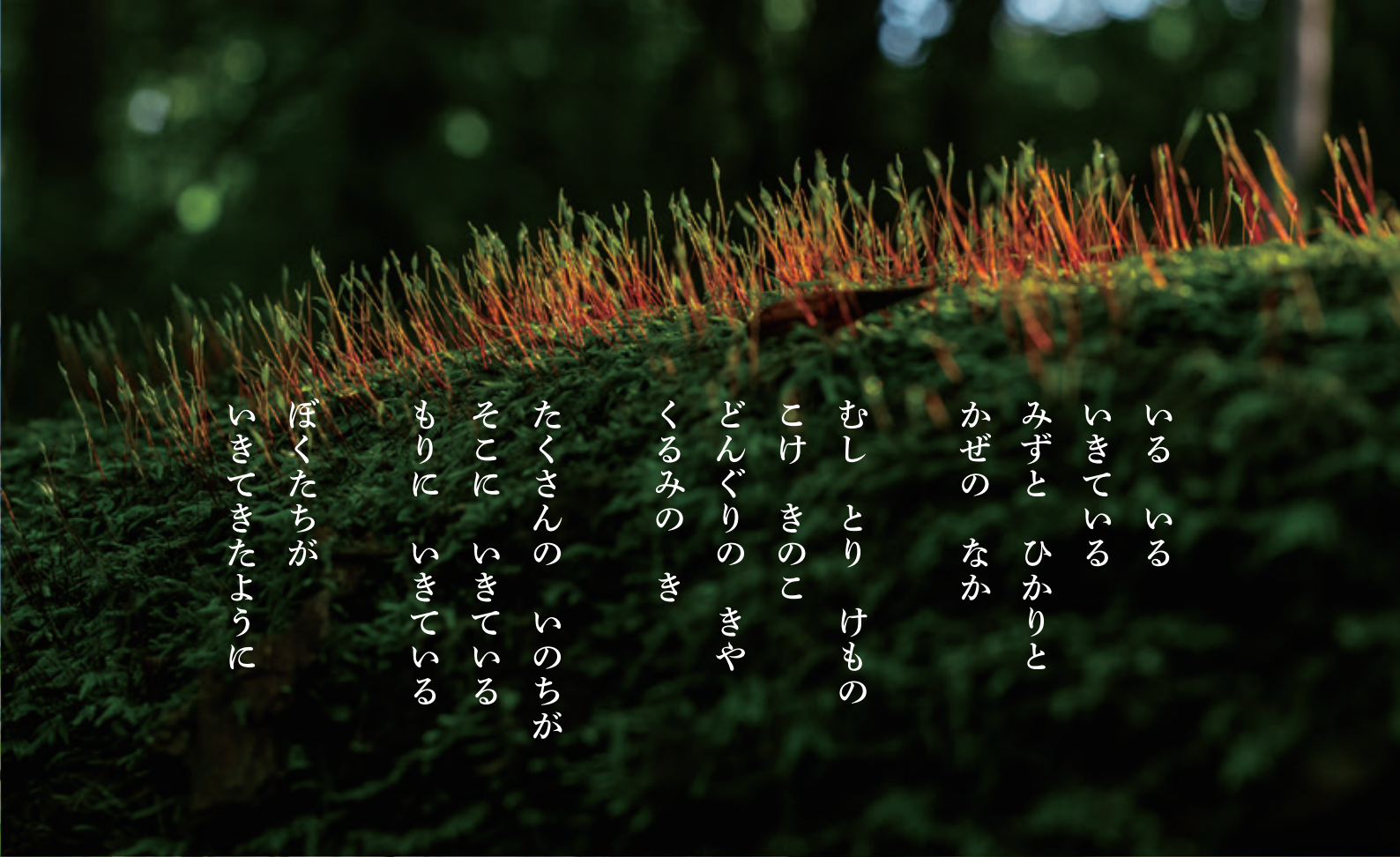
みずの なかで
くろい かげが
たのしそうに ゆれる
みどりの ひかりも
うれしそうに ゆれる
かげと ひかりで あそんでるの
だれ

さわさわさわ
かさっ かさこそ
ちちちちち
じーじーじー

ぱきっ

とおくから ちかくから
いろんな おとが
きこえてくる

おーい
そこに いるのは
だあれ
そこで なにを
しているの



たくさんの いのちが
いきてきた
もりで いのちを
つないできた

みちや はたけや
まちが つくられる
ずうっと まえから

じゃあ――

その もりは
だれが さいしよに
つくったのかな？





なつの おわり
とんぼが はねを やすめている
くさの はなの ほの さきで

とんぼに
しずかな いばしよを
つくってあげたの
だれ

くさたちを
ここに こんなに
たくさん はやしたの
だあれ



ふりつもった おちばで
だいちが また
ふかふかに つくりなおされる
どんぐりが
ぽそん ぽそんと おちてくる

きや くさに
もう はを おとす
きせつだよって しらせたの
だれ

これから おちばを
ゆっくり つちへと かえしてゆく
の
だあれ

つめたい ゆきと かぜのなか
きは しゃんと
そらを みあげて たっている
こずえを おおきく ひろげたまんま

きの いっぱん いっぱんを
こんなにくましく つくったの
だれ

ぽっ
ひらいたね
うまれたね
しあわせな
はるの いろ
ことしも ちゃんと
この ばしょで
じゅんびしてたの
ねえ だあれ



きせつが めぐる
なんじつかい
なんびゃつかい

その あいだじゅう
だれかが もりで
いのちを つないできた

よるがきて
また あさがくる
なんまんかい
なんおくかい
いま このときも
なにかが もりを
つくりつつけている

さわさわさわ

ぱきっ

あ……

そこに いるのは

だれ

この もりを
いま また
つくりはじめたの
だあれ



さあ つくろう ぼくたちも
たくさんの いのちと ともに

いのち つないでゆく
うつくしい もりを



小寺 卓矢（こでら たくや）

1971年神奈川県出身。写真家、写真絵本作家。北海道十勝に在住。「森に息づくいのちの繋がり」をテーマに、北海道や各地の森林風景を撮影している。学校や公共図書館での写真絵本体験プロジェクト、音楽家や芸術家とのコラボレーション公演等を数多く行っている。2010年から北海道教育庁特別非常勤講師をつとめる。主な著作に、写真絵本『森のいのち』『だって春だもん』『いっしょだよ』『いろいろはっぱ』『さくららら（升井純子と共著）』（以上アリス館）、『わたしたちの「撮る教室」』（石川晋ほか共著／学事出版）など
ウェブサイト <https://photokodera.com>

この森をつくるのは

写真・文 小寺 卓矢

発行 2025年3月 初版

発行者 帯広の森50周年記念事業実行委員会

事務局（帯広市みどりの課）
北海道帯広市西5条南7丁目1番地
TEL 0155・65・4186

監修 日月伸（帯広の森・はぐくむ）

DTP 檜山知弘

撮影協力 織田圭一 西村悠

久保あかり 久保敦 久保美香

印刷 大同出版紙業株式会社

この本は、森林環境譲与税を活用して製作しました。

帯広の森を歩く

撮影スポット＆森のメモ

●帯広の森について

1970年代、帯広に暮らす人が増え、街が広がりがつつあったころ、市街地南西部の郊外に森を造成し、十勝川、札内川となぐ緑のベルトで市街地を包み込んで、自然と調和する街をつくっていかうとする「帯広の森」構想が考えられました。

そして、畑だった場所に、30年にわたる植樹祭で、延べ15万人もの市民の手で23万本の木々を植え、森をつくってきました。

造成開始から50年を迎える帯広の森は、たくさん生き物がぐらし、木陰が人々に安らぎをもたらす豊かな森に育ってきています。

でも、森の時間の中で50年はまだまだはじまりのようなもの。これからも自然のめぐみを受け、人々の思いをつなげて、帯広の森の森づくりは続いていきます。

●50年後を想像して森を歩く

この写真絵本は「帯広の森」が生まれてから50年目を記念して作られました。切り取られた一コマ一コマは、それまで重ねてきたたくさんの思いとそこにつながる幾星霜の人々の暮らしと自然の営みが作り上げた風景です。

そんな森を舞台にしたこの絵本について、撮影した場所や生き物たちのエピソードを紹介します。撮影場所も地図の上に番号で示したので、どうぞこの写真絵本を手にも、実際に風景を訪ねてみてください。そしてこの森が次の50年、さらにその先、どんな風にな変わってゆくの、森の未来にも思いを巡らせてみてください。

① もりの山からの景色 撮影：8月
「もりの山」は人が作った小高い山です。その頂上は帯広市街地で一番高い場所。帯広の町なみから遠く大雪山や日高山脈までぐっと見渡せます。よく晴れた夜には星空がきれいです。

② 第2柏林台川 撮影：5月
この川の一部は広葉樹の自然林の間をゆっくり蛇行して流れます。川も林も自然状態に近く人工物もほとんど見当たらないので、ここが帯広の市街地であることをつい忘れるほどです。

③ 桜とメジロ 撮影：5月
帯広の森には桜がたくさん植えられている広場があります。春を待ちわびた人たちがお花見に訪れます。でも、満開の花を待ち望んでいるのはどうやら人間だけではないようですね。

④ ベニバナイチヤクソウ 撮影：5月
この花は特定の木や菌とうまく共生することで美しいお花畑をつくります。帯広の森では木も菌も時間と共に種類や姿を変え続けますから、これ、今だからこそ会える花かもしれません。

⑤ タチギボウシ 撮影：7月
夏の雨の森でこの花と会いました。この植物はいつもちょっと寂しげにうつむいて花を咲かせます。でも下からそっと見上げると…あ、大事な蕊（しべ）は黄色くクルンと上向きです。

⑥ 帯広川とサギと森 撮影：7月
一羽のサギが身じろぎもせずじっと川面を見つめています。魚を狙っているのかな。その様子を一人の写真家が橋の上からじっと見つめます。その静かな時間を、帯広の森が見守ります。

⑦ オオバノエンレイソウ 撮影：5月
春、森一面がこの花でいっぱいになる場所があります。何百何千と咲く花の一つをのぞき込むと、花粉を運ぶ羽虫とそれを捕食するクモがいました。一輪の花の中に命の物語がありました。

⑧ 光さす木立 撮影：10月
早朝、はぐくーむを出発して森の中をゆっくり巡り歩いていると、森に朝日がさしこんでくる風景に出会えます。朝の静けさの中で、まるで光のさす音が聞こえたような気持ちになりました。

⑨ ミヤマアカネ 撮影：8月
はぐくーむの駐車場の周りで、道路にはいつくばって、ぐっと近づいて撮りました。なんて細やかな羽の作り、なんて美しい色でしょう。美しいものはすぐ足元に、すぐ近くに 있습니다。

⑩ 木々と雪 撮影：1月
しんしんと降る雪の様子を何枚も何枚も撮ったうちの一枚です。何回シャッターを切っても同じ景色は一枚も撮れません。あの時間、いったい何粒の雪が森に降り注いでいたのでしょうか。

⑪ フクジュソウ 撮影：3月
この花のアイヌ語名の一つはチライ・アパッポ（イトウの・花）。今や幻の魚といわれるイトウの遡上（そじょう）時期に咲く花。その昔、ここでもイトウの群れが泳ぎまわっていたのかなー。

⑫ 昇る太陽 撮影：9月
「もりの山」から東を向くと帯広の町なみが見えます。ちょうどその方角から、真っ赤な朝日が静かにぐんぐん昇ります。今、この太陽から帯広の森って、どのように見えているのでしょうか。

⑬ こずえを寄せる木々 撮影：5月
第2柏林台川の段丘上で大切に育てられているカシワやナラの若木たちです。この木々が、10年後、50年後、100年後、ここにどんな森をつくっているでしょう。楽しみます。

⑭ 植樹 撮影：8月
暗い木陰に芽生えたナラの木の赤ちゃんを、日当たりの良い場所へ植えかえました。ここにしっかりと根付いてね、強くしなやかに育ってね、どうぞすてきな森をつくってね、と願いながら。

⑮ エゾリスとクルミの実 撮影：4月
クルミの実、それを食べるリスの命を支えます。でも、じつはリスも、クルミの木が森で増えるのを不思議なかたちで支えています。その〈不思議〉を見つけに、帯広の森へぜひ来てね！



森づくりは現在も進行中です。ぜひご参加ください。



①～⑮の数字は、この写真絵本に使用された写真が撮影された場所です。左ページに解説があります。



「帯広の森」は、十勝川、札内川とつないで市街地を囲み、緑と調和した街づくりを目指して構想されました。

四季折々にさまざまな風景や生き物との出会いがあります。



帯広の森・はぐくーむ

帯広の森の育成管理・利活用の拠点施設。帯広の森に関わる情報発信のほか、イベントや体験プログラムを通じて帯広の森の普及・教育も行っています。





航空写真(帯広) 平成28年(2016年)



帯広の森50周年記念